

アジア人文学と産学連携

—京大人社とNTT・日立との共同研究を通じて—

AIをはじめとする科学技術の社会実装によって、社会全体が大きく変わろうとしている現在、「人間とは」「よい社会とは」といった根源的問いを探究する人文社会科学に対し、とくに具体的な社会デザインに取り組む企業から、大きな期待が寄せられています。

「アジア人文学」というプロジェクトを掲げ、多元的・実践的な俯瞰知としての人文社会科学の再興を目指す「京大・人社未来形発信ユニット」主催の本シンポジウムでは、京大とNTTおよび日立との共同研究チームが、人文社会科学と産業界の協働の現状と展望について議論します。

日時

2020年1月26日(日)
13:00 - 17:40 ※12:30開場

会場

大手町ファーストスクエア カンファレンス

定員

198名

参加費

無料



開 会 13:00 - 13:05

出口 康夫 京都大学大学院文学研究科 教授
人社未来形発信ユニット長

来賓挨拶 13:05 - 13:15

文部科学省高等教育局 (予定)

第1部 基調報告 13:20 - 14:05

澤田 純 日本電信電話株式会社 代表取締役社長

鈴木 教洋 株式会社日立製作所 執行役常務CTO 兼 研究開発グループ長 兼 コーポレートベンチャリング室長

出口 康夫

第2部 研究成果及び展望 14:10 - 16:00

渡邊 淳司 日本電信電話株式会社コミュニケーション科学基礎研究所・サービスエボリューション研究所兼務
上席特別研究員

水野 弘之 株式会社日立製作所 研究開発グループ基礎研究センタ主管研究長 兼 日立京大ラボ長

唐沢 かおり 東京大学人文社会系研究科 教授

広井 良典 京都大学こころの未来研究センター 教授

坂出 健 京都大学大学院経済学研究科 准教授

第3部 パネルディスカッション 16:00 - 17:30

座 長: 出口 康夫

登壇者: 澤田 純、鈴木 教洋、渡邊 淳司、水野 弘之、唐沢 かおり、広井 良典、坂出 健

閉 会 17:30 - 17:40

木村 俊作 京都大学産官学連携本部 副本部長

お問い合わせ

京都大学人社未来形発信ユニット
<http://ukihss.cpier.kyoto-u.ac.jp/>

お申込

事前に申込フォームよりお申し込みください。
<https://forms.gle/ZtssAp6vvziUGhdA9>



京都大学人社未来形発信ユニット第3回全学シンポジウム

アジア人文学と産学連携—京大人社とNTT・日立との共同研究を通じて—

基調報告



澤田 純

日本電信電話株式会社
代表取締役社長

2019年11月、京都大学とNTTは、「IOWN構想」(スマートな世界を実現する、最先端の光関連技術および情報処理技術を活用した未来のコミュニケーション基盤が実現する世界に向けて、京都大学の研究グループとNTT R&Dとの協働により、テクノロジーの進化と人が調和する新たな世界観を構築するプロジェクトを発足させました。本プロジェクトでは、領域横断的な知としての哲学を新たに導入し、東洋的自己観をもとにリアルとバーチャルが融合する世界での新たな世界観の構築を目指します。今後、京都大学の人文社会科学の知とNTT R&Dのテクノロジーを活用し、IOWN構想が実現した世界における人の生きがいや倫理、社会制度を検討する取り組みを推進します。



鈴木 教洋

株式会社日立製作所
執行役常務CTO 兼 研究開発グループ長 兼
コーポレートベンチャリング室長

日立製作所は、SDGsやSociety 5.0の実現に向け、社会・環境・経済の3つの価値創出をめざす社会イノベーション事業に取り組んでいます。イノベーション創生に向けたエコシステム構築のために、大学との共同ラボを通じたビジョン発信、CVファンド新会社設立によるスタートアップ企業との連携、協創と技術開発の融合を推進する拠点「協創の森」の開設などを進めてきました。2016年に「日立未来課題探索共同研究部門(日立京大ラボ)」を開設し、文理融合での共同研究「ヒトと文化の理解に基づく基礎と学理」を推進しています。2050年の社会課題「Crisis 5.0」やその解決を探究した「Imagination 5.0」を策定するとともに、3つの価値の向上に向け、社会規範や倫理的な考えを組み込んだ社会システムの研究に取り組んでいます。これらの活動を通じ、社会全体のWell-beingやQoLの向上をめざします。



出口 康夫

京都大学大学院文学研究科教授
人社未来形発信ユニット長

一見すると水と油に見える人文学と産業界。でも実は案外、似た者同士だったりします。新しい技術とは、新しい生き方、新しい社会のあり方の提案です。一方、人文知の使命もまた、より多様な価値観や世界観を紡ぎ出すことにあります。そして両者とも、西洋の単なる受け売りでなく、また安易なナショナリズムとも一線を画す、新たな社会のデザインコンセプトを、アジアから発信する必要に迫られてもいます。このような認識のもと、京大人社系は「アジア人文学」を旗印に掲げ、人文学の産学連携の新たな可能性を開拓すべく、本シンポジウムを企画しました。人文学と産業界の実り豊かなパートナーシップの未来像がここにある！

研究成果及び展望



渡邊 淳司

日本電信電話株式会社
コミュニケーション科学基礎研究所・
サービスエボリューション研究所兼務
上席特別研究員



水野 弘之

株式会社日立製作所
研究開発グループ
基礎研究センタ主管研究員兼
日立京大ラボ長



唐沢 かおり

東京大学
人文社会系研究科教授



広井 良典

京都大学
こころの未来研究センター教授



坂出 健

京都大学
大学院経済学研究科准教授

総合司会

國友 真由美
フリーアナウンサー
(京都大学文学部卒)



人社未来形発信ユニット基金

ニッポンの、アジアの、セカイの人文・社会科学を元気に！寄せられたご支援を、本ユニットが取り組む人社系学術活動の活性化と発信力強化に活用していきます。



<http://www.kikin.kyoto-u.ac.jp/contribution/jinsh>

主催 京都大学人社未来形発信ユニット
共催 京都大学産官学連携本部
協力 日本電信電話株式会社、株式会社日立製作所

